

国際理解教育セミナー(愛媛)

教室と世界をつなげる授業作り

~学校現場で使える「ネタ」、「ヒント」がみつかる日!~

■ 日時:平成 24 年 2 月 25 日(土) 13:00~16:30 (受付 12:45)

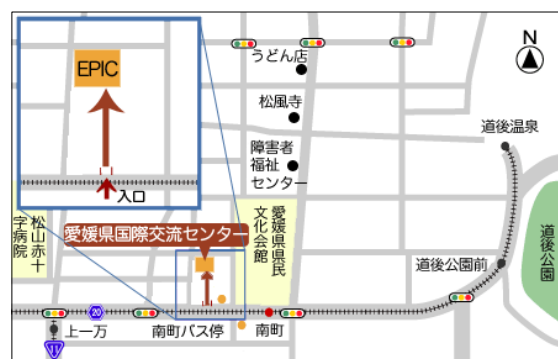
■ 場所:愛媛県国際交流センター(EPIC)
第 1 研修室(松山市道後一万 1-1)

■ 対象:国際理解教育に関心のある方
ならどなたでも(教員、NGO 関係者、学生等)

■ 募集人数:30 人 ※先着順

■ 参加費:無料

■ 申込方法:裏面の参加申込書にご記入の上、JICA 四国へお申込ください。
(郵送、FAX、メール、電話のいずれの方法でも結構です。)



申込み・問合せ先

JICA 四国 国際理解教育セミナー 担当宛
香川県高松市番町 1-1-5 ニッセイ高松ビル 7 階
TEL:087-821-8824 FAX:087-822-8870 E-mail:Makishima-Noriko@jica.go.jp

主 催:独立行政法人 国際協力機構 四国支部(JICA四国)

共 催:財団法人 愛媛県国際交流協会

後 援:愛媛県教育委員会、松山市教育委員会

当日プログラム、参加申込書は裏面へ



～当日プログラム(予定)～

12:45～	受付
13:00～13:10	開会
13:10～14:10	平成23年度教師海外研修(*1) モンゴル 研修報告 ☆発表者：足立さち先生（伊予市立伊予中学校）、井上省吾先生（宇和島市立城北中学校） 平成23年 7/31～8/10の約10日間のモンゴルでの海外研修の内容を発表します。 海外研修（モンゴル）後の実践授業紹介 ☆発表者：鼻崎吉則先生（松山市立味生第二小学校） 鼻崎先生が実際にモンゴルで見て、聞いて、感じたことと、児童の実態、指導計画に併せ、2学期以降、授業を実践しました。授業の全体構成、作成した資料の紹介。また、実践した授業の一部も参加者の皆さんに体験して頂きます。
14:10～14:15	休憩
14:15～15:15	国際協力出前講座(*2) 模擬授業体験 ☆発表者：桂浦 美紀 氏（青年海外協力隊OG／ドミニカ共和国派遣） 愛媛県では出前講座の名物講師とも言われる青年海外協力隊OG。これまで、高校でのキャリア教育や中学生対象の国際理解講座でサルサ体験を実施し、生徒・児童を魅了。今回は参加者の皆さんが実際に模擬授業を体験して頂きます。
15:15～15:20	休憩
15:20～16:20	学校現場で使えるネタ紹介 ☆担当：横内 悠（JICA愛媛県国際協力推進員） これまで、愛媛県内各小、中、高、大学で50回を超える出前講座を実施し、特に、WS「世界がもし100人の村だったら」は各校で好評を得てきました。今回は、この100人村WSのコツを伝授し、その他、学校現場で使える様々なネタを提供します。
16:20～16:30	閉会

*1<教師海外研修とは>

開発教育（国際理解教育に関心を持つ学校教員及び教育委員会の指導主事等を対象に、実際に開発途上国を訪問することで、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を学校現場での授業実践等を通じて、次世代を担う児童・生徒の教育に役立てて頂くことを目的に実施。今年度は四国管内から6名（うち、愛媛3名）の先生方が参加し、約10日間のモンゴルでの海外研修に参加しました。

*2<JICA 国際協力出前講座とは>

実際に途上国で国際協力に携わってきた青年海外協力隊、シニア海外ボランティアのOB/OGなどを講師として派遣し、生きた体験談を提供しています。学校教育現場における様々な学習活動の場面で（総合的な学習の時間、進路学習、人権学習、平和学習、環境学習など）効果的です。

参加申込書 FAX:087-822-8870

フリガナ			
氏名			
連絡先	〒		
	TEL		FAX
	E-mail		
所属先			
☆今後、JICA からのイベント案内について送付を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない（いずれかに☑をお願いします）			

※記入頂いた個人情報は、本研修に係る事務手続き及び希望者への JICA 事業のお知らせ以外には使用いたしません。